🄴 Electrolux

システムキッチン用［ドロップインコンロ］

設置マニュアル

型　　式	型式の呼び	備　　考
HG30100B-B	RD313GS	1口タイプ（ブラック）
HG30200B-B	RD323GS	2口タイプ（ブラック）

◆設置される方へのお願い

●この機器を安全に正しくご使用いただくために、この設置マニュアルをよくお読みになって指定された設置を行ってください。

●設置が終わったら F 設置後の点検確認 のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

●設置終了後は、この「設置マニュアル」と「取扱説明書」をいっしょにして、必ずお客様にお渡しください。

A 安全に正しく設置していただくために

機器を安全に正しく設置していただくためや、設置作業者や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するために、この設置マニュアルではいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

 一般的な警告・注意　 一般的な禁止　 必ず行う　 分解禁止　 換気必要

特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

⚠警告

■設置は必ず、この「設置マニュアル」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（日本ガス機器検査協会刊）に従う

確認

変則的な設置をすると事故や火災の原因となります。

■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置マニュアル」をよく読み、指定された設置を行う

確認

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

金属管や金属可とう管などによる機器へのガス配管接続工事・取りはずし工事は必ず有資格者が行ってください。

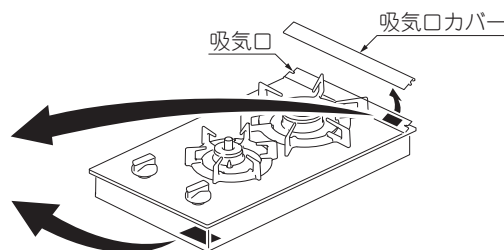
確認

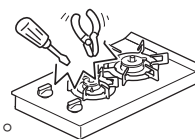
⚠注意

■設置する機器が使用するガスの種類（ガスグループ）に適合していることを銘板で確認する

ガスの確認

合っていない場合そのまま使用すると火災や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また故障の原因にもなります。
銘板は機器後方の吸気口上面（吸気口カバーをはずした下側）または本体底面に張ってあります。

〈例〉銘板（12A・13A の場合）

■絶対に改造・分解は行わない

設置で必要なところ以外は絶対に改造・分解は行わないでください。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。

分解禁止

■この機器は一般家庭用です

業務用として使用しないでください。機器の寿命が極端に短くなります。

禁止

⚠注意

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

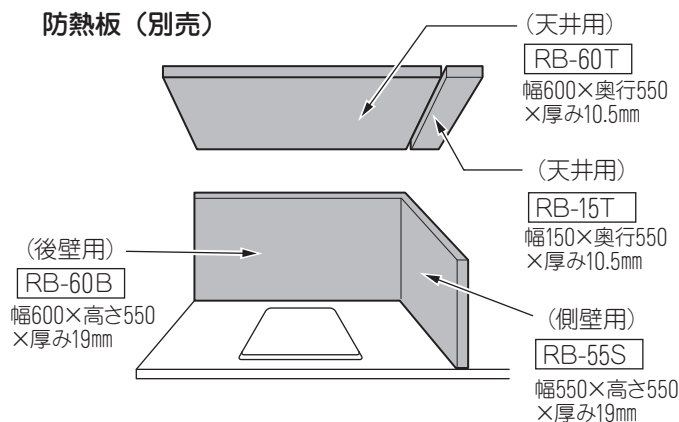
・可燃物との距離を確実にとる（下図参照）
・守れない場合は別売の防熱板を取り付ける

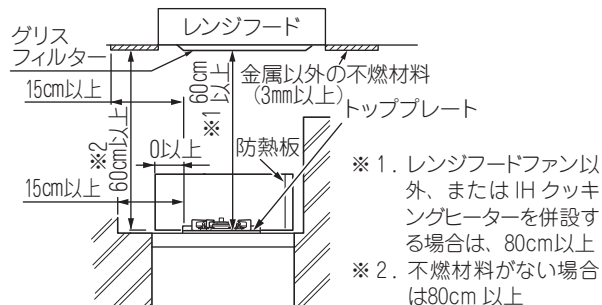
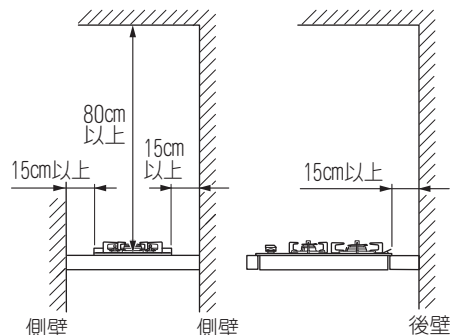
●火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また、可燃性の壁にステンレス板などを直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

●周囲に可燃物（木製の壁、棚など）のある場合は次のようにしてください。

※トッププレートより上の側面は15cm 以上、後面は15cm 以上、上部はトッププレート上面より80cm 以上離して設置します。

●可燃性の壁（ステンレス板などを張り付けた可燃性の壁も含む）から側面は15cm 以上、後面は15cm 以上、また、上部はトッププレート上面から80cm 以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も、流し台側面を保護してください。

防熱板（別売）

※機器後方と防熱板は 1 cm 以上離してください。
密着させると不完全燃焼するおそれがあります。

※1．レンジフードファン以外、または IH クッキングヒーターを併設する場合は、80cm以上
※2．不燃材料がない場合は80cm 以上

※防熱板については、お買い上げの販売店、またはもよりの当社サービスセンターにお問い合わせください。

■設置するときは、下記の項目に注意してください

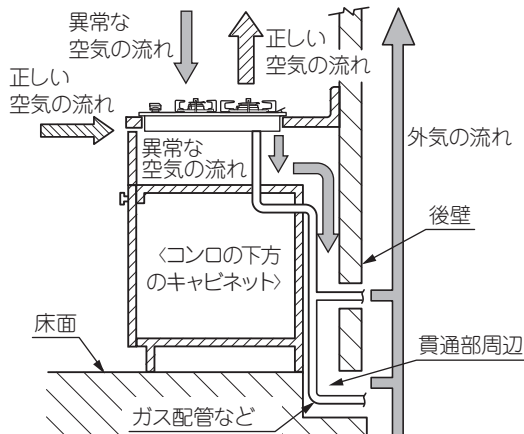
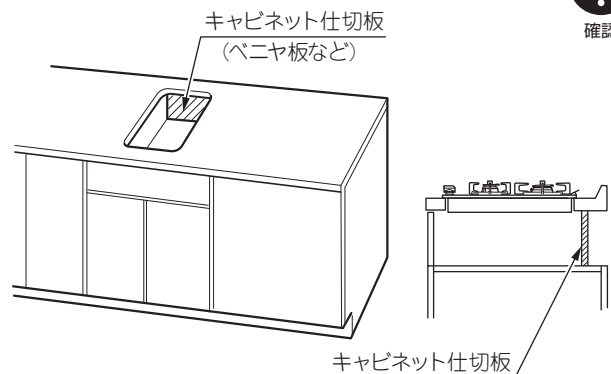
●前記の設置基準は、共同住宅など（戸建て専用住宅、共同住宅、店舗併用住宅の住宅部分であり、営業用および一般事業所の従業員食堂、学校、病院の給食用等の以外のもの）の用途の建築物であり、また排気方式が、各住戸の厨房用ダクトが単独排気方式の場合に適用されます。
●設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する。
●燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例に定める防火措置を施す。
●この機器を設置される台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
●水平で安定した場所に設置する。
●指定の防熱板を必ず使用する。
●車両・船舶には設置しない。
●吸気口をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでふさがない。
●十分に換気のできるところに設置する。
●水のかかるところには設置しない。
●機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かない。
●棚の下など落下物の危険のあるところには設置しない。
●湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しない。
●強い風が吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所には設置しない。
（点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しく働かないことがあります）

⚠注意

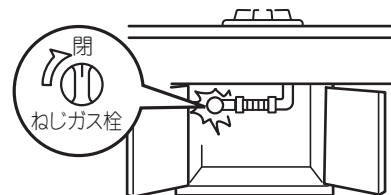
■キャビネットに背板があるか確認する

確認

ベニヤ板などにより機器の後方をふさいでください。

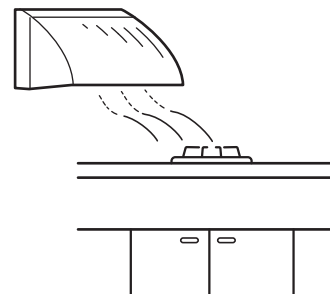
キャビネットに背板がないと、ガス管などの配管貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がもぐりこんだり、消火したり、不完全燃焼することがあります。

■設置後、長期間使用しないときはガス栓（ねじガス栓）を閉める

ガス栓（ねじガス栓）は機器下方または、となりのキャビネット内にあります。

ガス事故防止のため必ず行ってください。

■十分な換気設備がある場所に設置する

この機器にはレンジフードファンが必要です。

設置するガス機器および同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。

ただし、室内給気式（FE·CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるため、注意が必要です。

■機器設置の際には必ず手袋をする

けがの防止になります。

お願い

◎本体をタイルやモルタルで、塗り込まない。

◎耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところに設置する。

◎ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・6903）またはこれと同等以上の材料を使う。

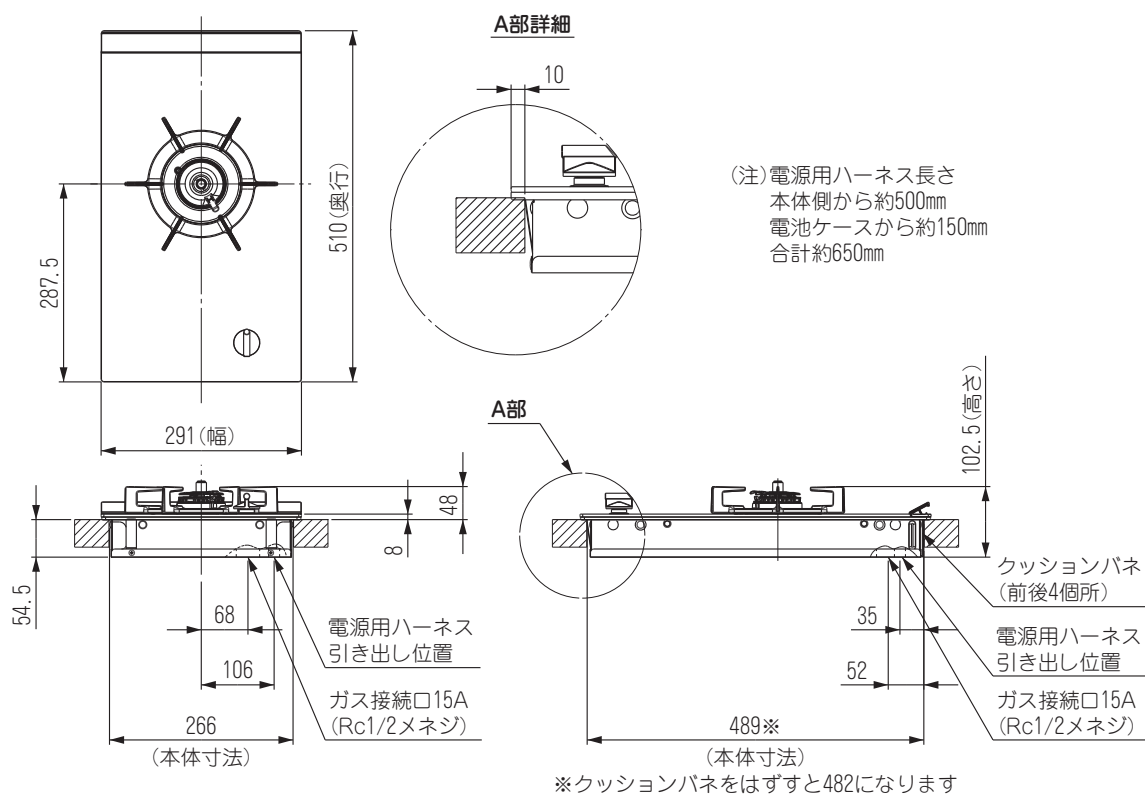
◎表面がニス引きのものは変色するおそれがあるので使用しない。

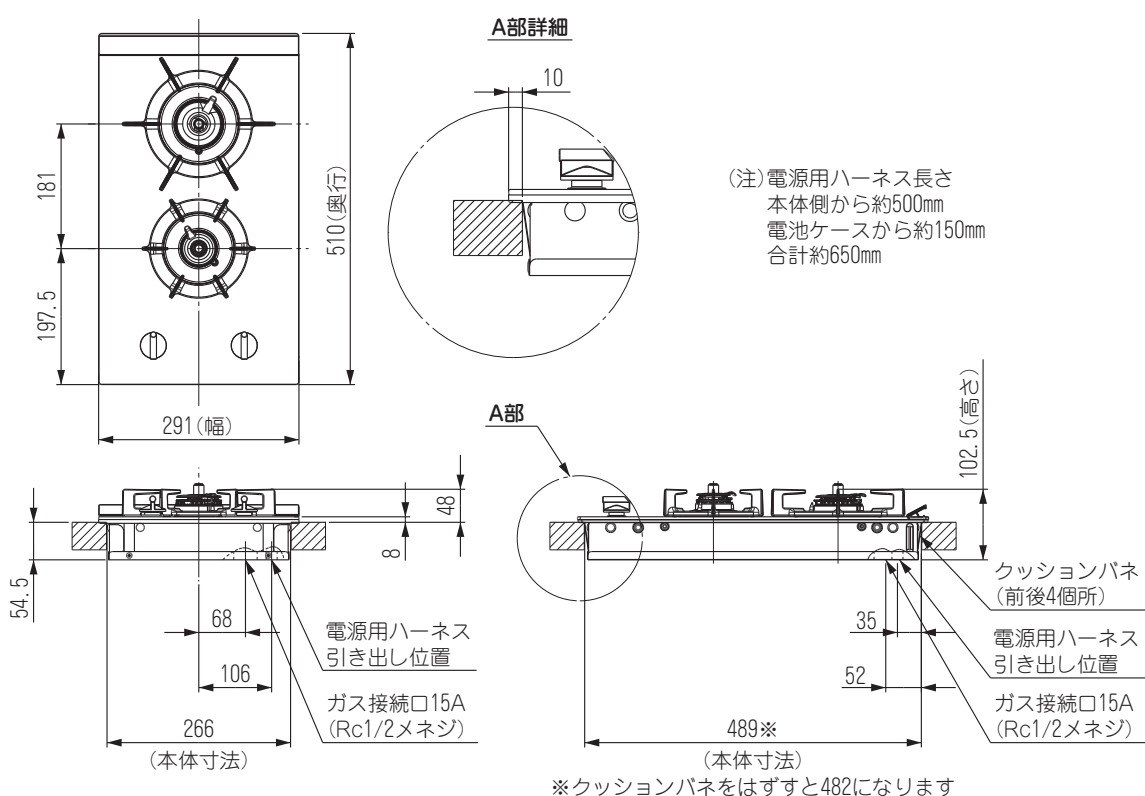
◎本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になります。

B 寸　法　図

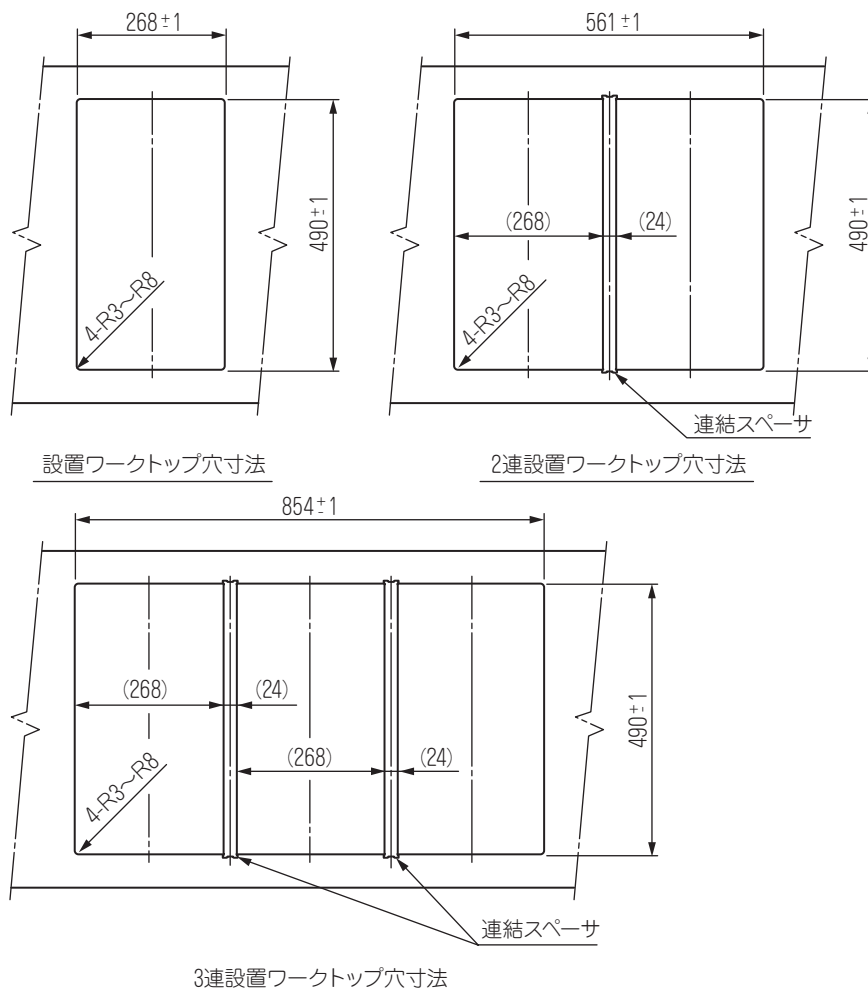
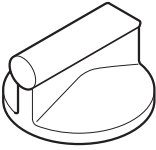
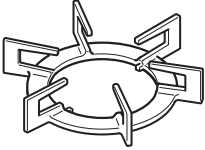
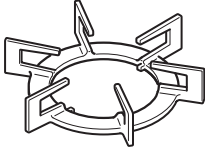
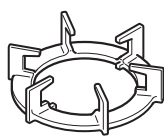
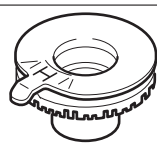
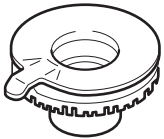
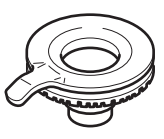
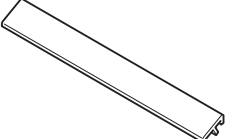
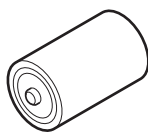
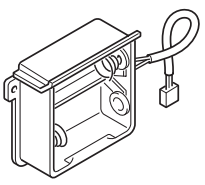
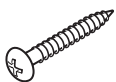
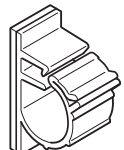
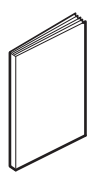
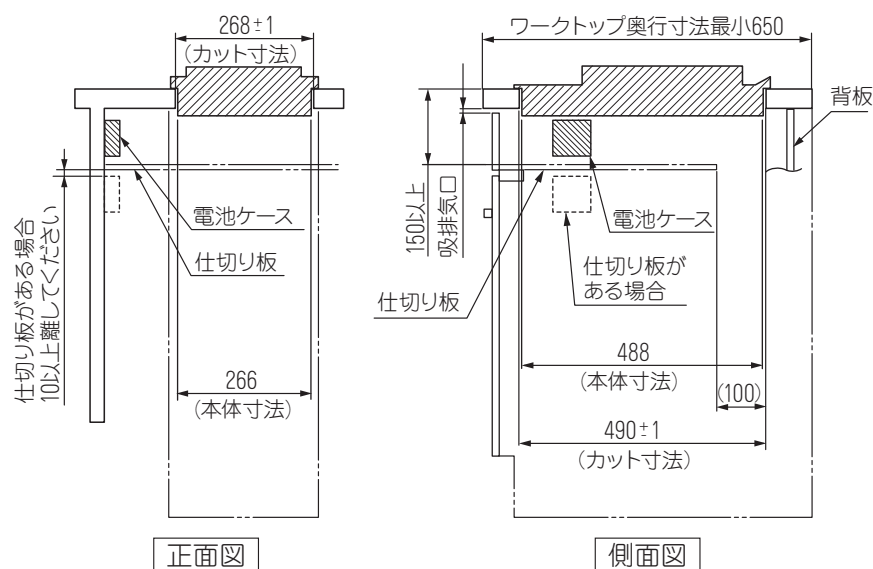
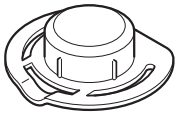
1．外形寸法図

(単位：mm)

HG30100B-B

HG30200B-B

(単位：mm)

2．キッチン組み込み寸法図

（単位：mm）

ワークトップ穴あけ寸法

キャビネットに組み込む寸法

◉キッチンなどに組み込む場合は、本体正面の吸排気口に、外気を取り入れるための10mm 以上の開口が必要です。また、本体正面に吸排気口を設けられない場合は、仕切り板前方に100cm²以上の開口を設けてください。

◉本体裏面にはワークトップから150mm 以上の空間を確保してください。機器下部にオーブンを入れ込む場合や仕切り板（要不燃処理）などを取り付ける場合も同様です。

◉電池ケースはキャビネット側面または後面に取り付けてください。

C 同梱部品と設置後不要となる部品の確認

① 部品の不足がないことを確認する。

部品名	器具栓つまみ	ごとく大	ごとく大	ごとく小	バーナーキャップ（強火力）
形　状	（HG30200B-Bは2個）	HG30100B-B	HG30200B-B		HG30100B-B （H刻印）
部品名	バーナーキャップ（標準）	バーナーキャップ（小）	吸気口カバー	単1形アルカリ乾電池	電池ケース
形　状	HG30200B-B			2個	
部品名	電池ケース固定用ねじ	リード線固定用クリップ	取扱説明書		
形　状	3本	3個			

② 設置の際、コンロから取りはずし不要となる部品を確認する。

部品名	インレットキャップ
形　状	

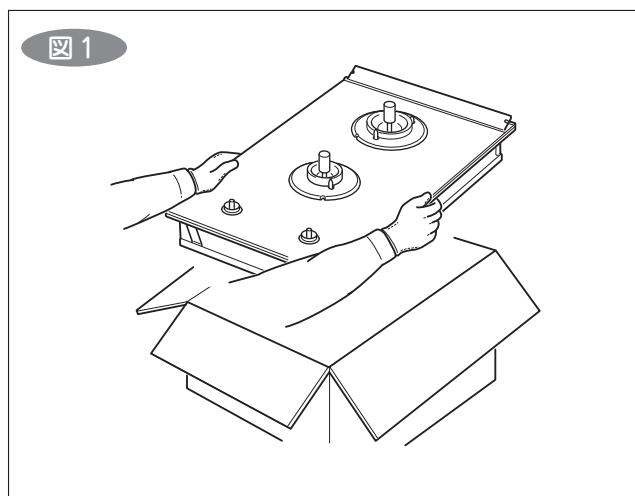
D 機器の設置

1．開梱・機器の取り出し

① 開梱して機器を取り出す。 図1

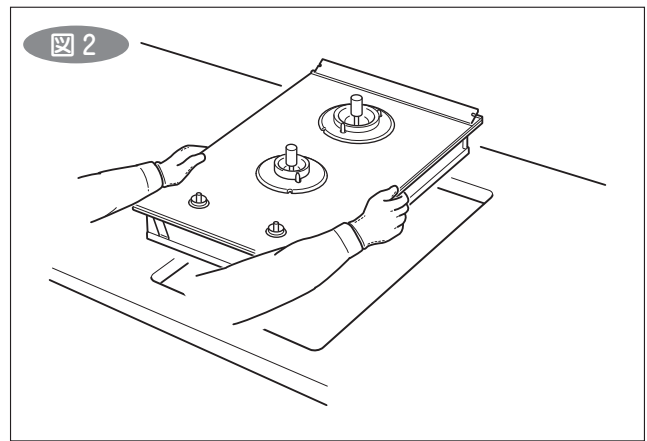
◉輸送のため各部品にあて紙や包装部材がありますので、全部取り除いてください。

◉ C 同梱部品と設置後不要となる部品の確認 を参照して、部品の不足がないことを確認してください。
なお、ごとくは機器の下に梱包されています。

※必ず本体側部を持ってください。バーナーなどの燃焼部品を持って機器を持ち上げると、燃焼不良の原因となります。

2．単体設置

① コンロをワークトップに組み込む。 図2

※組み込み時は必ず本体側部を持って組み込んでください。吸気口を持って組み込むと機器損傷の原因になります。

※ワークトップとの間にすき間があいていないか確認してください。

② コンロの横方向のすき間を調整する。 図3

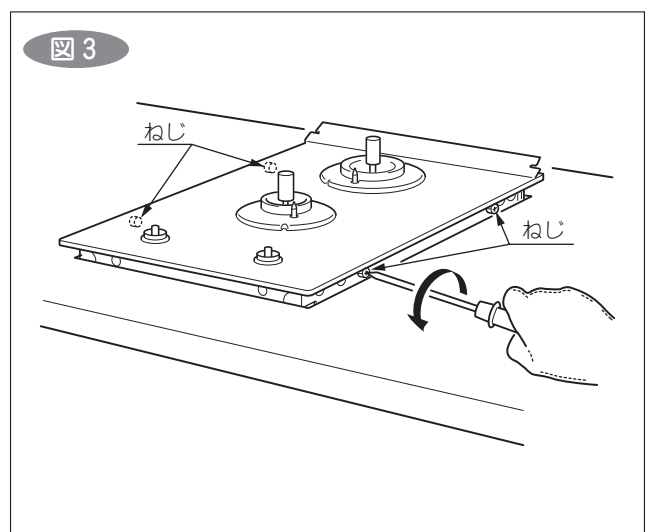
◉本体側面に付いているねじをゆるめて、機器を動かない程度に固定してください。

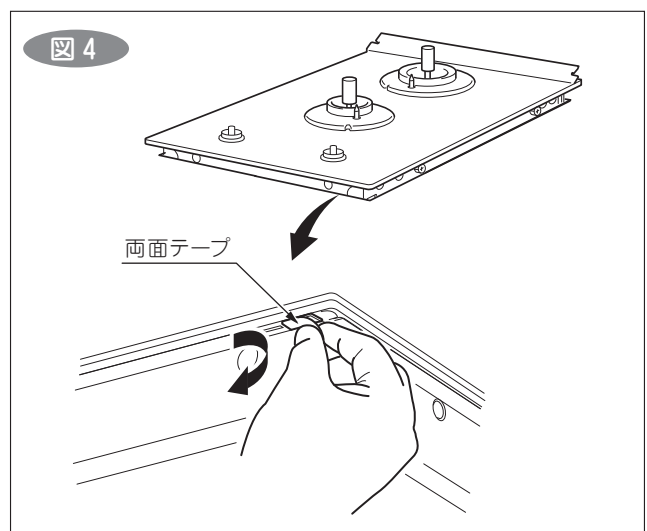
※ゆるめすぎると、ワークトップを壊したり、機器が変形したり、パッキンが浮く原因になります。

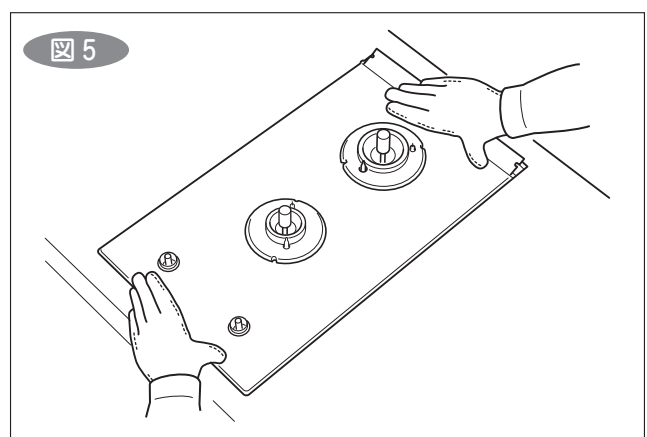
〈使用工具〉

プラスドライバー、スパナ（呼び８）、モンキーレンチ

◉プラスドライバー、スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチ・モンキーレンチなどでねじの六角部をはさんで回してください。

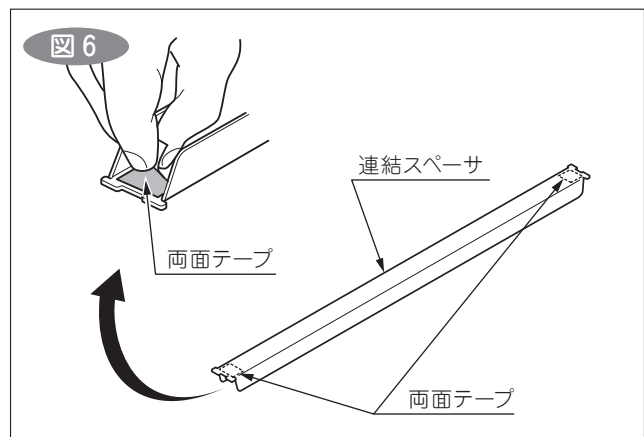
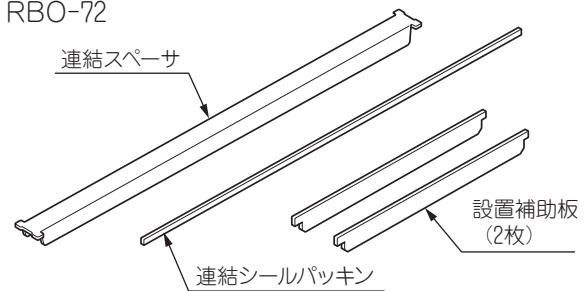
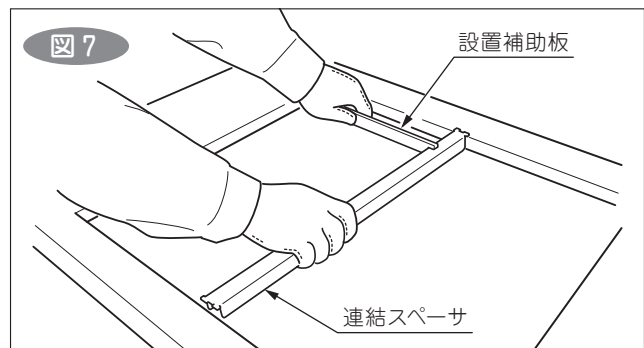
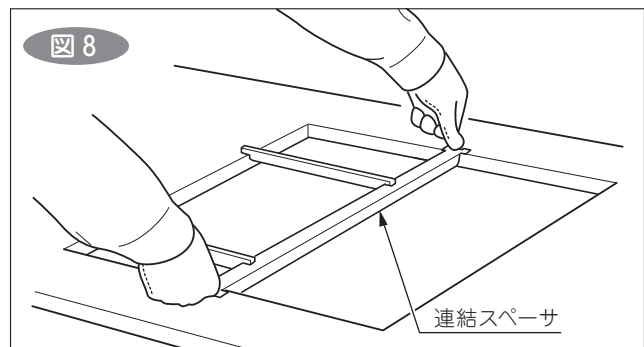
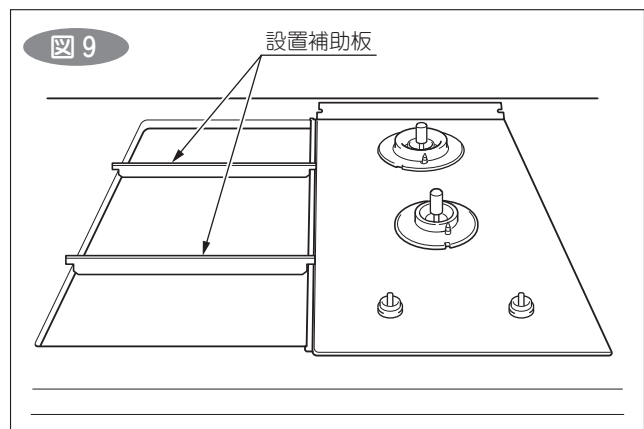
※工具を使用する際には、トッププレートに傷をつけないようにしてください。

③ 両面テープのはくり紙をはがす。 図4

◉トッププレート裏面の前後４個所に張り付けてある両面テープのはくり紙をはがしてください。

④ コンロを押さえ、両面テープをワークトップに接着させる。 図5

※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認してください。

3．連結設置

※連結設置する場合は、別売の連結部材セット（RBO-72）が必要です。
お買い上げの販売店、またはもよりの当社サービスセンターにお問い合わせください。
※ IH クッキングヒーターと連結する場合は、IH クッキングヒーターの設置マニュアルを参照してください。

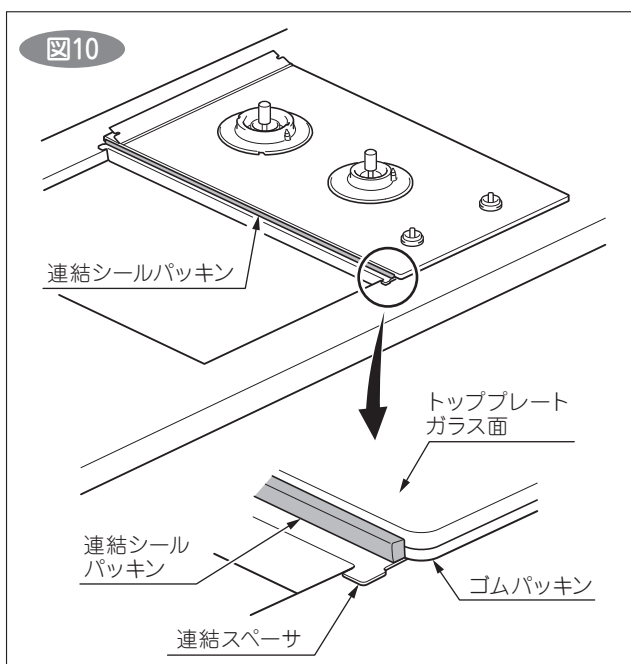
●連結部材セット
RBO-72

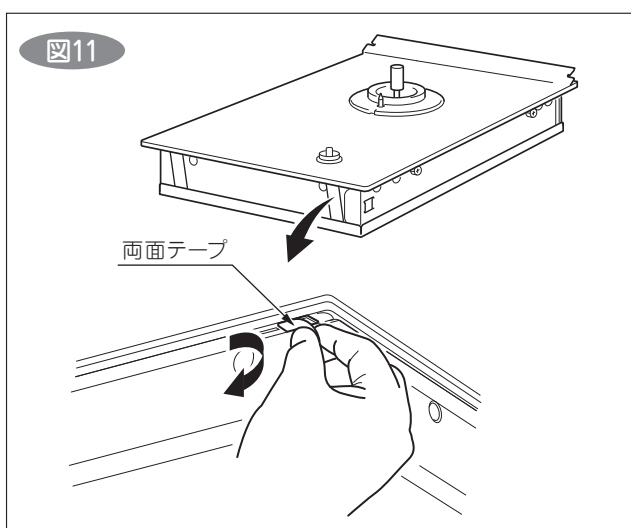
① 連結スペーサ裏面の前後に張り付けてある両面テープのはくり紙をはがす。 図6

② 設置補助板（2 枚）で前後の位置間隔を合わせる。 図7

③ 連結スペーサを押さえて張り付ける。 図8
※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認してください。

④ 2．単体設置 を参照して1台目のコンロを設置する。 図9
◉設置後に設置補助板をはずしてください。

⑤　先に設置したコンロのトッププレート側面に連結シールパッキンを張り付ける。 図10

◉パッキン側面を連結スペーサにあてながら、すき間のないように角の丸みの終わりから張り付けてください。

◉連結シールパッキンの後ろがあまった場合は、切り取ってください。

◉予備の連結シールパッキンは、お客様にお渡ししてください。

お願い	◉連結スペーサと連結シールパッキンの間にすき間があると、連結設置したトッププレートの合わせ目にパッキンがはみ出るので注意してください。

⑥　両面テープのはくり紙をはがす。 図11

◉トッププレート裏面の前後４個所に張り付けてある両面テープのはくり紙をはがしてください。

⑦　２台目のコンロを組み込む。 図12

◉連結シールパッキンをつぶすように横から押してください。

⑧　コンロの横方向のすき間を調整する。 図13

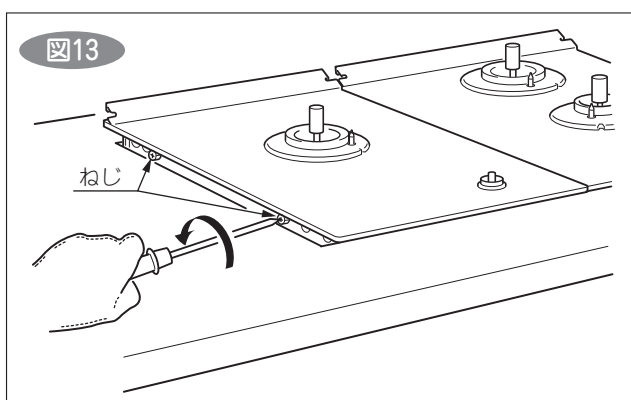
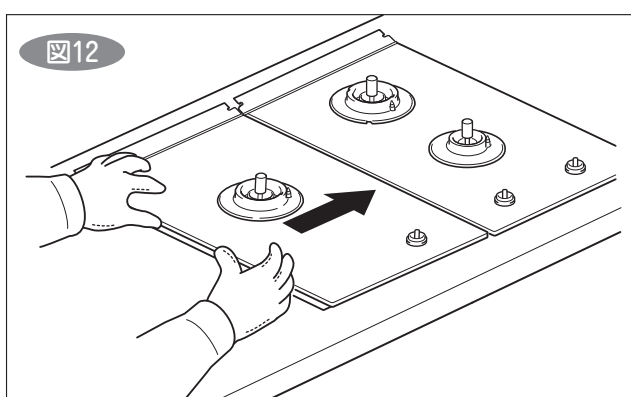
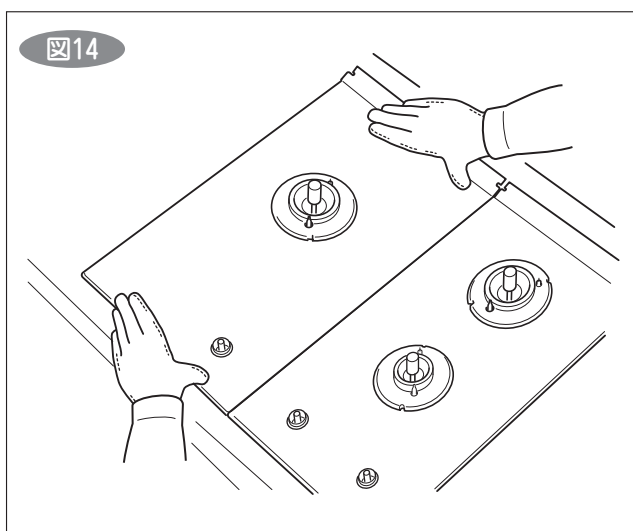
◉本体側面に付いているねじをゆるめて、機器を動かない程度に固定してください。

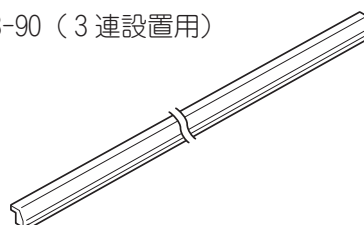
お願い	◉隣のコンロとの合わせ目と反対側のねじをゆるめてください。

〈使用工具〉

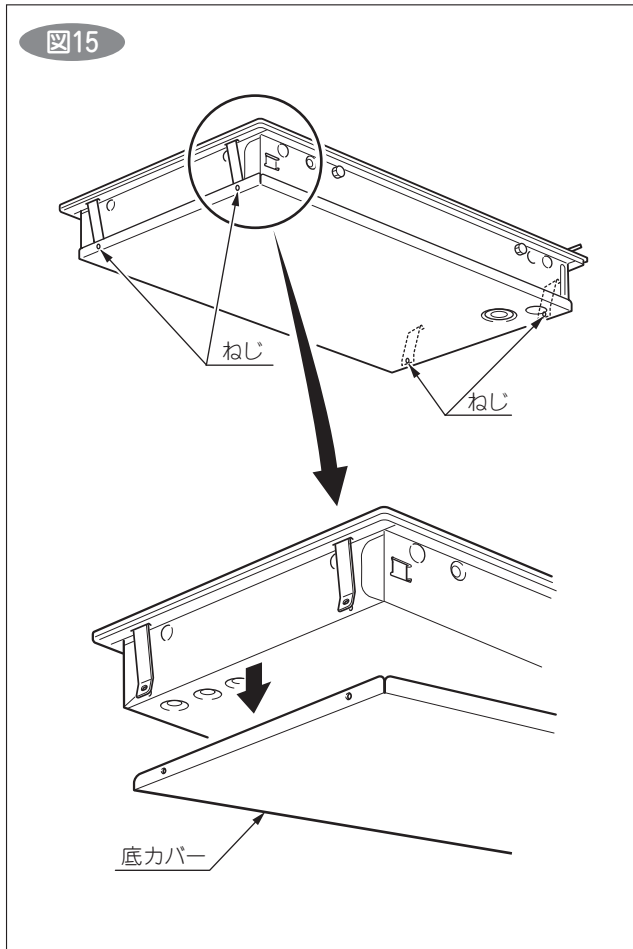
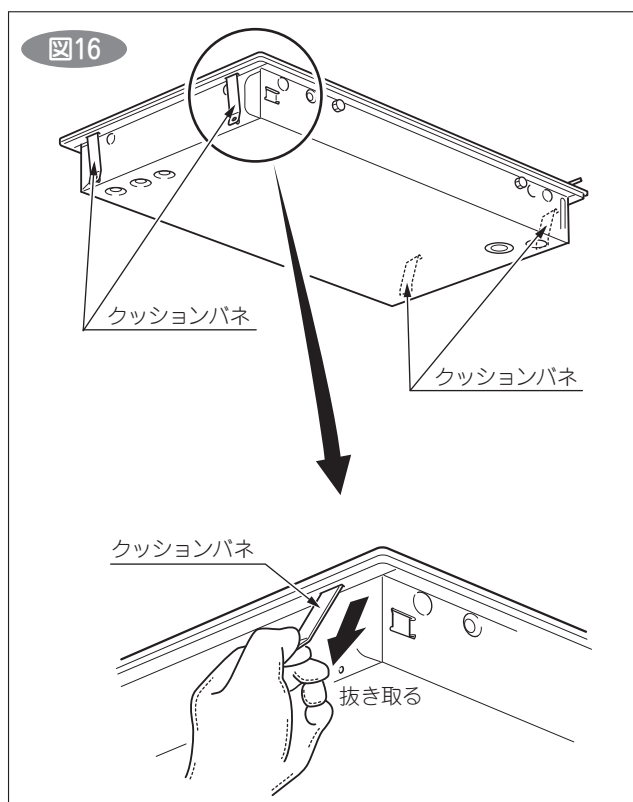
プラスドライバー、スパナ（呼び８）、モンキーレンチ

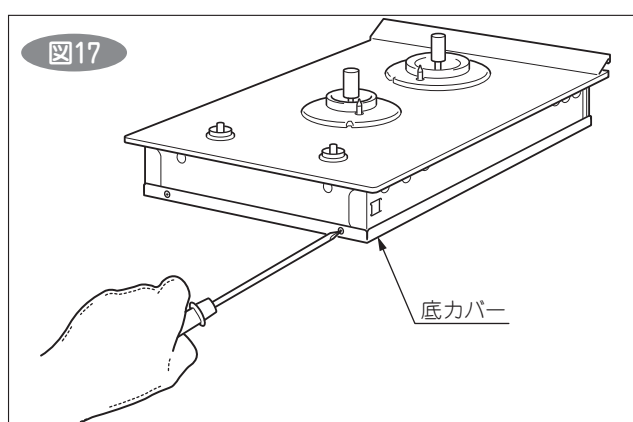
◉プラスドライバー、スパナがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチ・モンキーレンチなどでねじの六角部をはさんで回してください。

※工具を使用する際には、トッププレートに傷をつけないようにしてください。

⑨　設置したコンロを押さえ、両面テープをワークトップに接着させる。 図14
※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認してください。

⑩　必要に応じてトッププレート前後面に別売の連結フィラー（RBO-73-60または RBO-73-90）を取り付ける。
※お買い上げの販売店、またはもよりの当社サービスセンターにお問い合わせください。

●連結フィラー
RBO-73-60（２連設置用）
RBO-73-90（３連設置用）

4．買い替え時ワークトップ穴あけ寸法が小さい場合

〈ワークトップ穴の前後寸法が482～489mm の場合〉

①　本体前後面に付いているねじ４本をはずして、底カバーを取りはずす。 図15

② 本体前後面に付いているクッションバネ（４個所）を抜き取る。 図16

③ 図15 ではずしたねじ４本で底カバーを取り付け直し、コンロを組み込む。 図17

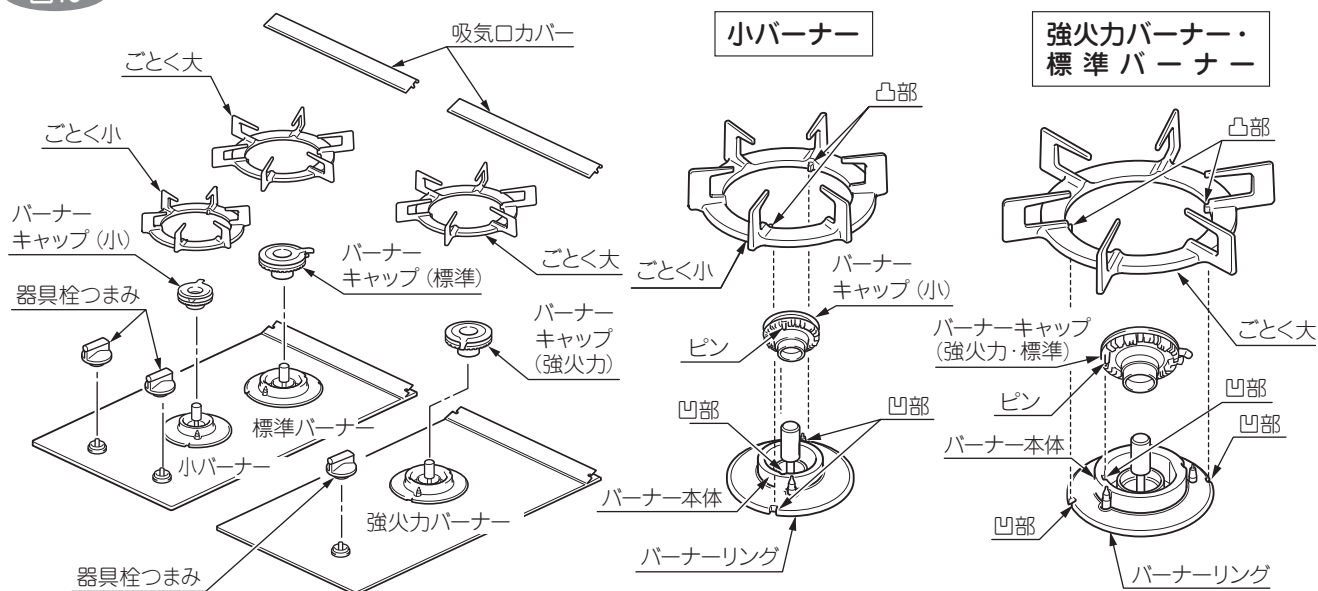
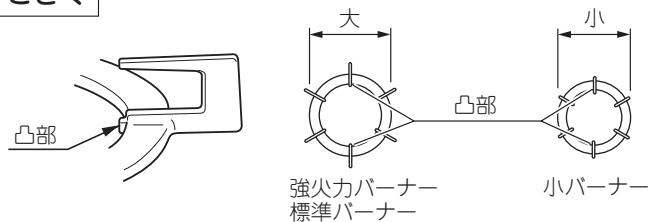
お願い
◉底カバーのねじはしっかりと締め込んでください。

5．部品の取り付け

●詳しくは、取扱説明書を参照してください。

◉バーナーキャップ、ごとくは、下図のように正しく取り付けてください。

ごとく

強火力バーナー
標準バーナー

小バーナー

◉ごとく内側の凸部2個所をバーナーリング凹部2個所に入れて正しく取り付けてください。

バーナーキャップ

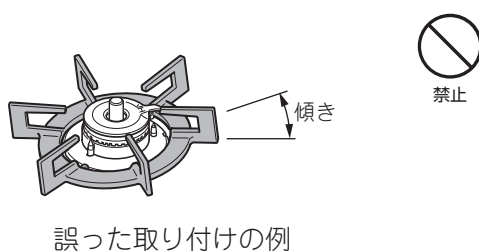
小バーナー　標準バーナー　強火力バーナー

◉バーナー本体の凹部にバーナーキャップのピンを入れて正しく取り付けてください。

※強火力バーナー用には、「H」の刻印が表示してあります。標準バーナー用とまちがえないように取り付けてください。

⚠注意

■ごとくは誤った取り付けで使用しない

誤った取り付けをするとなべなどが不安定になり、傾いたり、倒れたりします。

誤った取り付けの例

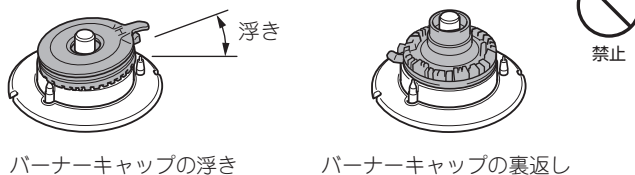
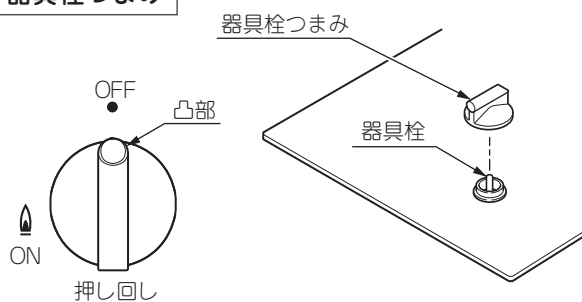
■バーナーキャップは誤った取り付けで使用しない

バーナーキャップを正しく取り付けないと

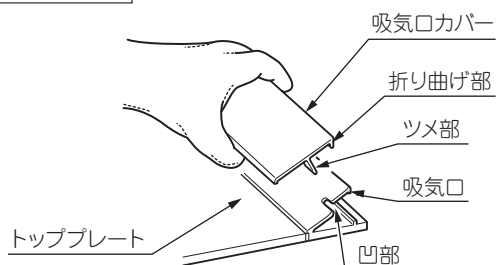
- 点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で、不完全燃焼や一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。

禁止

バーナーキャップの浮き

バーナーキャップの裏返し

器具栓つまみ

◉器具栓つまみの表面にある凸部をOFFの位置に合わせるようにして、器具栓つまみを器具栓に押し込んでください。

吸気口カバー

◉吸気口カバーの折り曲げ部が上にくるようにして、ツメ部をトッププレート後部の吸気口の凹部に取り付けてください。

6．電池ケースの取り付け

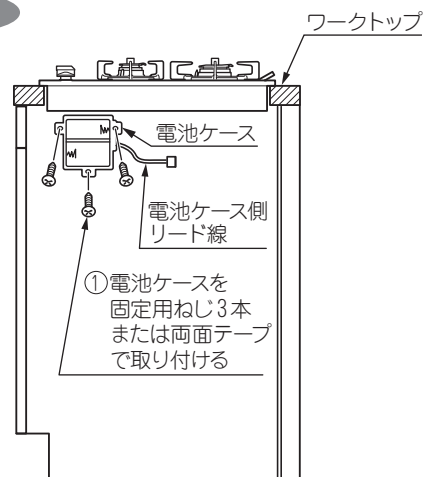
① 電池ケースをキャビネット内部側面または後面の見えるところに取り付ける。 図19

◉電池ケースを付属の電池ケース固定用ねじ３本または両面テープで取り付けてください。

※両面テープは同梱されていません。

お願い

◉電池ケースの取り付けはキャビネットの引き出しなどに触れないことを確認し行ってください。

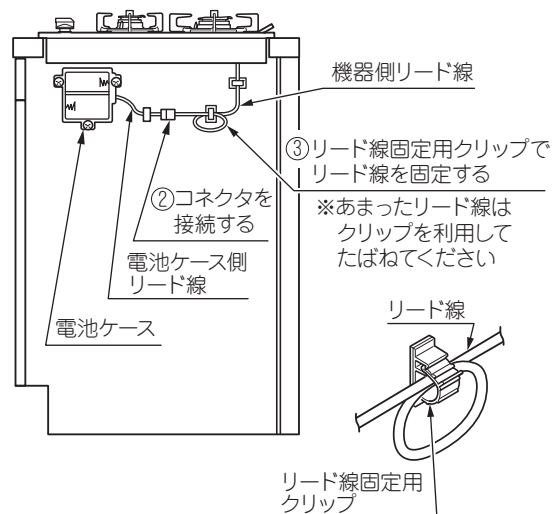
◉電池ケースは機器底面に取り付けないでください。

② 電池ケースのリード線と機器側のリード線のコネクタを接続する。 図20

③ 付属のリード線固定用クリップでリード線を固定する。 図20

◉リード線のたるみのないようにリード線固定用クリップをキャビネット側面または後面に張り付けてください。

お願い

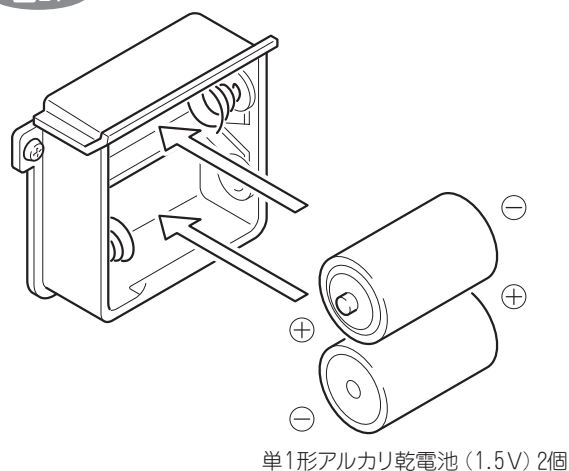
◉あまったリード線はリード線固定用クリップを利用してたばねてください。

◉リード線の取り付けはガス配管作業時に支障のないことや、キャビネットの引き出しなどに触れないことを確認し行ってください。

7．乾電池の取り付け

●詳しくは、取扱説明書を参照してください。

① 単１形アルカリ乾電池（1.5V）２個を、⊕⊖を確認して正しくはめ込む。 図21

単1形アルカリ乾電池（1.5V）2個

E ガス配管工事・ガス配管接続工事

⚠警告

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

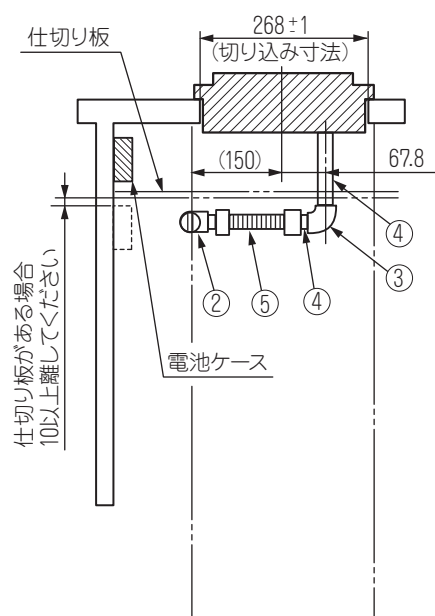
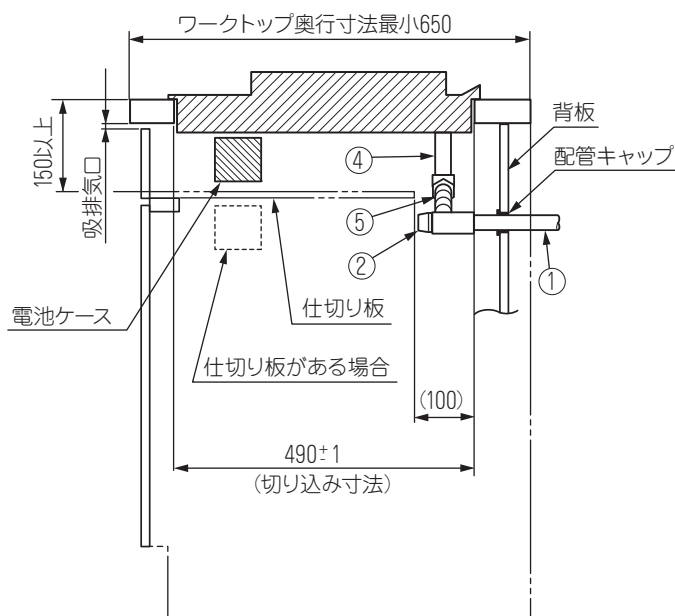
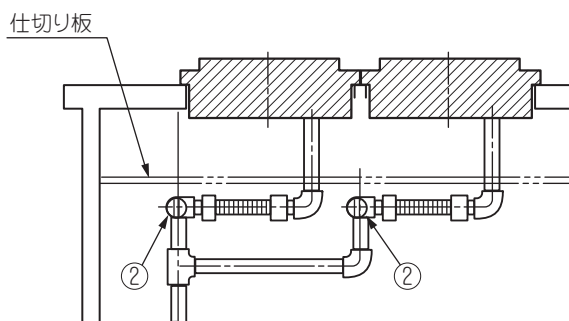
- 接続の際はガスシール材を必ず使用してください。
- コンロごとにガス栓（ねじガス栓）を必ず取り付けてください。
- 接続完了後、ガス漏れのないことを確認してください。
- 取りはずした部品は必ず取り付けてください。

① コンロの配管方法

◉インレットキャップをはずしてください。

◉ガス配管接続は金属可とう管または金属管接続してください。

◉配管周囲のすき間をなくすように、配管キャップなどを取り付けてください。すき間が大きいと消火したり、炎がもぐりこんだりして異常過熱の原因になります。

（単位：mm）

No	配管仕様
①	ガス管（R1/2）
②	ねじガス栓
③	エルボ（Rc1/2）
④	ニップル（R1/2）
⑤	金属可とう管

標準配管例

F　設置後の点検確認

◉チェックリストに基づいて確認してください。

点検項目		点検内容	参照項目	チェック
機器およびその周辺	ガス種	使用するガス種に適合しているか。（銘板確認）	A	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分か。	A	
	水平設置	水平に設置されているか。	A	
	安定設置	ガタツキはないか。	A	
	換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	A	
キャビネット		キャビネットに背板があるか。（機器後方に穴があいていないか）	A	
ガス配管接続工事		ガス漏れはないか。	E	
ラベル貼付		接続具の設置者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付したか。		
電池ケースの取り付け		キャビネット内に取り付けられ、コネクタは接続されているか。	D	
同梱部品		部品の不足はないか。また正しく取り付けられているか。	C	
その他		包装部材が機器に残っていないか。		

G　試点火および試運転

①　試点火および試運転

◉正しく設置されていることを確認してからガス栓（ねじガス栓）を開き取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。

②　試運転終了後の処置

◉試運転終了後長期間使用しない場合は、ガス栓（ねじガス栓）を閉め、乾電池を取りはずしてください。

③　お客様への説明

◉必ず取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

◉必ず取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明してください。

◉取扱説明書、設置マニュアルの保管のお願いをしてください。

Electrolux

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
ホームプロダクツ事業部

東　京　〒108-0022 東京都港区海岸3-2-12 安田芝浦第２ビル
TEL(03)5445-3363　FAX(03)5445-3362
サービスご相談窓口（フリーダイヤル）0120-5445-07
http://www.aeg-electrolux.com

JS0001-054 (00)
07000005282350